学校番号	2101

令和８年度　学校設定教科

教科	自己実現のための日本語	科目	（学）日本文化事情	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

外国にルーツがあり、日本文化を通して日本語や母文化を学ぶための授業です。
クラスのレベルに合わせた内容にしますから、安心してください。
日本社会で生きていくために日本文化を学び、母文化についてもより深く学びなおします。
予習復習があるときは、必ず取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日本の伝統文化や現代にいたるまでの文化や事象を知る。
・日本語初中級レベルまでの基本文型や語彙を使用して簡単なスピーチができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・日本の文化等を文献やメディアから学び、その由来や現代への影響、他国との関係性などを考え、自分の意見をまとめることができる。また、クラスメイトの意見を聞き、それに対する感想を述べることができる。言語を問わず、情報に対する自分の考えや意見をまとめて相互理解を図ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・日本語が持つ特有の表現などを母語継承語と比較しながら認識を深めるとともに、言葉を通して多文化を理解する態度を養う。
・日本語でのコミュニケーション力をつけ、日本で生き抜くための情報収集力や発信力をつけようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・文化に関する資料などリライト文であれば読みうる言語力を身につける。 ・作文構造を意識して作文を書くことができる。	・日本語を使って、論理的に物事を考えたり文章構成を考えたりすることができる。 ・文化について学び、様々な文化を比較し、考察することができる。	・文化を通して他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めようとしている。 ・文化に対する認識を深め、日本で生きていく力の糧とし、自己肯定感が高まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	文化を学ぶ意義	・文化とは何か、文化を学ぶ意義は何かについて考える	a:文化を学ぶ意義が理解できる b:文化を学ぶ理由について考え、伝えることができる c:文化の優劣がないことについて意識できている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・発問	・観察 ・感想文 ・発問
	日本と西洋の文化	・文化比較論の文章を読み、異文化理解について考える	a:文化比較する際の論点を理解している b:自分の考えを論理的にまとめ、他者に伝えることができる c:文化比較することにより、価値観を認め合おうとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・作文 ・スピーチ	・観察 ・感想文 ・スピーチ
後半	日本の小説	・日本文化を象徴する文章や文学作品を読み、批判的思考を深める ・母国と日本での問題に対する認識の差異について考える	a:文学作品の背景や作者の主観等の知識を有する b:文学作品から読みとった内容を日本語を用いて他者に伝えることができる c:文学作品に関心をもって読み解こうとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・観察 ・感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度